

救急医療の

エンドオブライフ・ケア

救急医療の現場では、懸命に救命努力を尽くしたあとの延命医療の問題が深刻化しています。治療の継続が本人と家族らに苦痛と負担を与えるだけとなった段階では、ガイドラインに沿って治療を終了することも選択肢です。しかし医療者のなかには法的問題を心配する声が絶えません。こうした問題を臨床倫理的に適切に意思決定するには何が必要でしょうか。このシンポジウムでは症例をとおして具体的に検討します。一緒に考えてみませんか。

2016年 **2月7日** (日) 午後1時～5時 (開場：12:30)

会場

東京大学本郷キャンパス

伊藤謝恩ホール (赤門近く)

主催

東京大学大学院人文社会系研究科

死生学・応用倫理センター上廣講座

「臨床倫理プロジェクト」

演者

有賀 徹 昭和大学病院長・救急医学講座教授

樋口範雄 東京大学大学院法学政治学研究科教授

清水哲郎 東京大学大学院人文社会系研究科特任教授

荒木 尚 日本医科大学救急医学講座講師

森 朋有 黒松内町国民健康保険病院医師

座長

会田薫子 東京大学大学院人文社会系研究科特任准教授

*本シンポジウムは、日本学術振興会科学研究費補助金基盤 (A) 「臨床倫理検討システムの哲学的見直しと臨床現場・教育現場における展開」による研究の一環として行われます。

「上廣死生学・応用倫理講座」のサイトより予約してください。

<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/dls/>

*2016年1月6日(水)より予約受付開始
定員480名(定員に達し次第、締め切りとなります
のでご了承ください)

参加無料
要予約

END-OF-LIFE CARE

[お問い合わせ先] 東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座
FAX:03-5841-2656 e-mail: dalsjp@gmail.com